

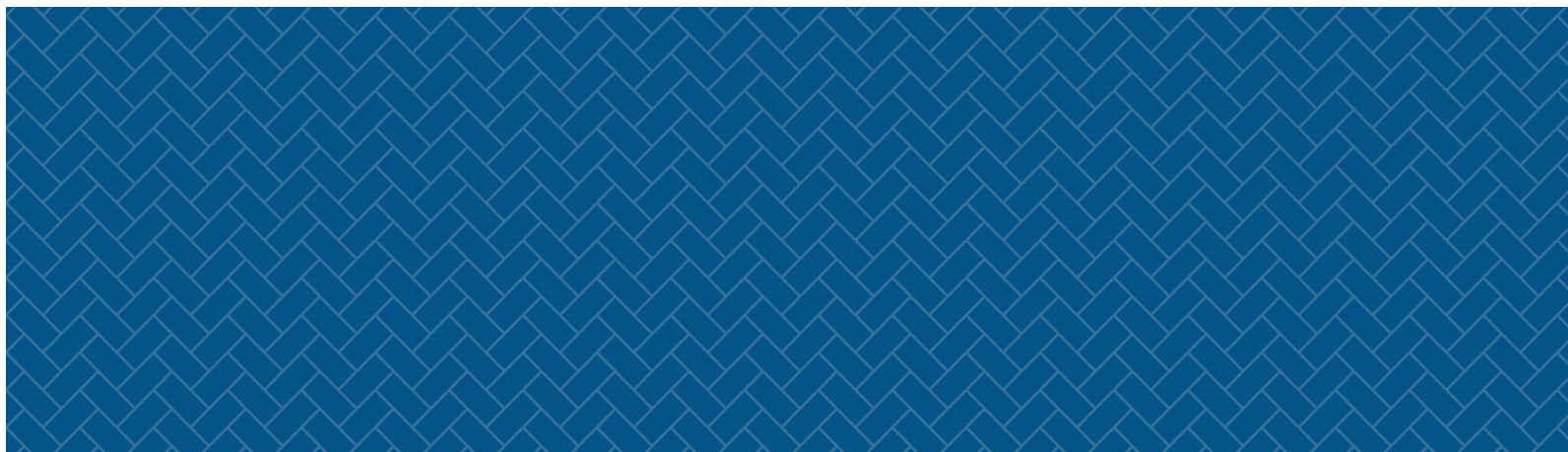


立命館大学学友会

2020 年度春セメスター
全学アンケート

自由回答記述一覧

立命館大学学友会 中央常任委員会



2020年度春 semester 全学アンケート

自由記述回答一覧

2020年度春 semester 全学アンケートにおける自由記述式の質問及び、選択式質問の「その他」に記述された回答を以下にまとめる。以下に記載する回答一覧については類似する記述を要素ごとにまとめて集計を行なっている。

なお、回答のなかで個人を特定し得る回答や誹謗中傷、質問と無関係の回答については除外して記載する。

Q7.Web講義について何か気になった点があれば記入してください。

回答数	自由記述
152	オンライン講義によって講義の理解度が低下した
108	課題や作業量が多く、日常生活や学びに支障をきたした
103	学生間とのコンタクトが、SNS上での繋がりなどの学外に限った交流となり、人脈作りの差が開いてしまった
68	機器の不具合や不慣れによって、勉強に支障をきたした
41	講義ごとで授業形式が違い、混乱した
29	オンラインでグループワークを行うため対面より実効性が低い
28	勉強に対するモチベーションを保てなくなり、困窮した
27	90分を超過して講義を続けるものがあった
15	出席ができてのかが分からないので不安
15	春 semester の講義は現状の学費に見合わなかったと感じた
14	教員とコミュニケーションが取りづらかった
11	講義内容とシラバスとに齟齬があって混乱した
5	レジュメだけの講義があった
5	オンライン講義によって精神的にも身体的にも悪影響があった
4	人間関係の構築が難しかった
2	オンライン講義によって生活習慣に悪影響が生じた
2	自分の課題がしっかり提出できているのか、先生からの反応がないとわからない 特に実習等で、復習としてなにをすればいいのかわからなかった 語学の講義で聞き直せることが出来るのは有難かった 聞き逃したところを確認できる点ではよかった 多少は復習に時間を費やせた 対面授業よりも気兼ねなく先生に質問できた 夜中に課題を出さないで欲しい。見失うので本来の授業後の時間帯に課題を出すべき ありません。対面授業の時より、満足しています 提示された教科書を購入したにもかかわらず、その教科書を講義で一切使用せず、別の教材を多く指定され、購入することになった 講義の時間になっても資料がアップロードされていなかった 対面で授業を聞く方が分かりやすいと思うが、不明点などあった場合は匿名での質問も可能な科目があるので、その点はとてもやりやすい 自分の好きな時間にきちんと集中できるのでよかったです これからもWebのままやってほしい 自分で提出ボタンを押すのではなく、締め切りになったらその時点で回答が提出されるシステムにしてもらいたい 先生が気付いてくれなくて授業に入らなかった 提出時間が90分しかない小テストを毎週行う授業があったのだが、本当にやめて欲しかった。この時間にWi-Fi環境に支障が出たり、機器に何かあったら不出席 &未提出になるからだ 自主性が向上する利点があった テストや課題が一切なかった講義があり、成績の付け方がわかりません オンデマンドだと当日に見なくなるのでライブ型が良かった 動画をできるだけ倍速できるサイトで配信してほしい 小テストを授業内限定とする授業があった。30分しかできないので、1つ逃した 体育をしたかった オンラインで様々な教科を同時に受ける生徒に対する対応がひどい時が多かった 後期も感染リスクを低減させるためにWeb授業の継続を強く希望します 編集済の動画を配信して欲しかった 英語科にいい加減注意してほしい。具体的な苦情は他の人が言ってる通りです レジュメの閲覧期間を延ばして欲しかった ライブ授業はアーカイブを必ず残して欲しい。また、言語のzoom授業での顔出しなしを認めて欲しい 良い点です。提出した感想や質問に対してフィードバックの動画を上げてくれたことは、丁寧に受講するモチベーションとなり、他の受講生の存在も感じられて楽しく、積極的に受けることができました レジュメの閲覧期間を延ばして欲しかった ライブ授業はアーカイブを必ず残して欲しい。また、言語のzoom授業での顔出しなしを認めて欲しい 良い点です。提出した感想や質問に対してフィードバックの動画を上げてくれたことは、丁寧に受講するモチベーションとなり、他の受講生の存在も感じられて楽しく、積極的に受けることができました 動画を倍速で見られるようにしてほしい 一般教養科目の抽選の必要性 課題の提出期限を明確にされていないことがあった 抽選科目がオンライン化に伴い、当初の予定と違うものになってしまったが、登録削除ができなかった点 講義資料の閲覧履歴をつけるやり方。また、zoom講義の必要性があるのか zoomにおける匿名性を利用した授業の妨害となるような悪戯を見かけた 私語や雑音がなく、分からないところを自分で止めることも出来るので、良かったと思う すごくやりやすく大学の対応も適切だと感じました 曜日感覚がずれる日があったので、出席自体を忘れたことがある YouTube上に動画をアップロードしてくださる先生は、再生スピードを変えたり大切な部分を複数回視聴するなどの使い分けができた一方、他媒体に動画をアップロードされる先生の動画は使いやすさの点では気になることが多かった 集中できない 提出期限などを忘れやすい点 自身で熟考せず、何でも質問すれば良いと思っている学生がいる気がする

下宿しなくても、自宅から学びたいことが学べたので良いと思った
一部ではあるが、一方的すぎる科目がある。投げやり感が否めない
レポート課題が公開されても掲示板にも何も報告もなく、その科目の所を開かないと分からず、何度も確認した科目があった
全ての講義で、倍速で授業を聞くことができるようなサイトに動画をあげて欲しい
Web講義になったことで、シラバスから評価の方法が変わった講義がありました。事前に説明があって受講生が納得したなら理解できるのですが、一方的に通知され、反対する機会はありませんでした
Zoomなどの授業を増やしてほしい
課題の提出日を統一してほしい
期限の見逃しが多かった
web上に授業動画が投稿される科目について、期間が短く感じた。例えば、ある講義の第9回の授業で、第4回で触れた内容と繋がるものがあったときに、レジュメではなく直接第4回を見直すことができるのがweb動画の利点ではないだろうか
去年の資料を使いまわして対面を前提にしている講義があり、指示に混乱した
面白くはなかったが、好きな時間に自宅で集中することが出来た。
学びへの影響というよりは、友人が新しく出来にくいのは大学生活の中で致命的であるということを実感しました
全く動画がない講義があるのが気になった
課題だけ出す教授やレジュメだけ出す教授がいるのはなぜか気になります
レジュメのみの授業はあまり意味がない
授業日数もレジュメしか送らない教授もいるのに、なぜ授業料が同じなのか
教示されたテーマについて話し合うのみで、人間的成長を促すような友好関係を築けられなかった。
学びというより人脈
精神的に辛い
長時間のパソコン作業に伴い、ドライアイになりました。現在も20分パソコンを見つめるだけでも辛い状況です。そういった生徒の体調不良にもならぬかの形で配慮をしていただけると嬉しいです。また、先生方へそのような生徒がいることを周知をしていただけると嬉しいです
ライブ型は目がすごく疲れて一つ受けたあとの疲労感がすごい
目が悪くなった
ブルーライトで目が痛い
大学が定期試験を行わないと定めていたのに、授業中にファイナルテストがあったこと
成績の付け方が分からない。または不適切であるものが多数存在した
シラバスが変更されず、シラバス上に載ってない課題や出席点などが気になった
シラバスが更新されていない講義がある。評価欄を詳しく書いてほしい
シラバスの変更がなされていない講義があったり、当初の予定との差が激しいものが多かったように感じる。手間ではあると思うが、変更等について説明をして欲しいと感じた
なにが課題なのか連絡なのか、わかりにくかった

Q9.【できなかったと回答した方へ】レジュメをダウンロードできなかった理由を教えてください。

回答数	自由記述
6	家にプリンターがなく印刷できなかった
3	ファイルの容量が大きくダウンロードに時間がかかった/ダウンロードできなかった
3	URLが正しく機能しなかった
3	ファイルを開けなかった
3	通信環境に問題があった
2	ダウンロードの仕方がわからなかった
	コンテンツ発表後、1ヶ月も内容が非公開となっていたため、ダウンロード可能になった際に通知が来なかった
	パソコンのバグでレジュメが画面に表示されないことがあった
	家にプリンターがなく、コンビニで印刷しようとしたが何故か印刷できなかった。解決方法の注意欄を見て行っても印刷できなかったため、この春SEM中のレジュメを1つもダウンロードすることができなかった
	自分の不注意で期限をみていなかった
	急に、レジュメを消しますと、理由も皆さんがいっぱい授業取っているから、と
	少し公開期間が短い講義があり、オンライン授業ということもあり見逃ししやすいこと、一時的なwifi環境や機器不調などもありうるため、公開期間をできるだけ長くしてもらえると学生側は助かります
	任意と言われていた、講義の関連資料を後になって最終レポートの範囲だと判明したが、その時点では既に期限が過ぎていた
	Windowsでしか見れないものがあった
	ダウンロードの必要性を感じなかった
	セブンで印刷することができなかったとき、レジュメを印刷できなかった
	サイトで開くことなく保存したためしっかり閲覧出来たか分からない
	ダウンロード出来ているのかわからない
	Wordファイルは適切にダウンロードできないことが多かった。PDFファイルは全て上手くいった
	レジュメURLが間違っていて閲覧出来なかったためメールで指摘したがmanaba上のものは修正されず、メールの返信としてレジュメが送られてきたので閲覧できなかった生徒もいたのではないかと思います
	ファイル形態が、デフォルトの設定では見れないものだったので、自分の機器の設定から行わないといけなくなった
	新しくアップロードされたとの情報が曖昧で、場所も分かりにくかった
	大学でレジュメを印刷できるようになった時期が遅すぎた

Q11.レジュメをダウンロードできなかった際にどのような支援があれば望ましいと思いますか？

回答数	自由記述
115	春SEMスター終了までレジュメの公開
82	再度ダウンロードの機会を設ける
67	公開期間の延長
36	教授のフォローアップ、連絡先の公開
28	メールでの一斉配布
13	レジュメの郵送
11	アクセス制限を設けない
10	複数の方法で教材をダウンロードできるようにしてほしい
8	掲示板
7	レジュメがアップされたことの通知が欲しい

6	manabaでDL
6	コピー代などの印刷費の経済的援助
5	担当教員の連絡手段を確立して欲しい
4	DL方法がわからない
4	学部棟の複合機の開放、複合機のポイント数の増加
3	ダウンロードの方法を統一して欲しい
2	DLしないでもいいシステム構築 授業の資料を常時ダウンロードできる環境にしてほしい(公開期間の延長や再度掲載をしてほしかった) 教授との連絡がとりにくく、フォローアップが受けにくい 資料をメールで一斉送信してほしい 印刷できる環境をより充実させてほしい(金銭的援助や印刷ポイントの増加) アクセス制限を設けないでほしい

Q13.【スムーズに行っていたと感じなかったと回答した方へ】どのような点でそう感じたのか教えてください。

回答数	自由記述
124	回線不良で音声や映像に問題が生じていた
78	ブレイクアウトルームや画面共有等の操作トラブルがあった
61	教授がZoom等のオンラインツールに慣れておらず、操作に時間がかかっていた
23	人数制限等でアクセスができなかった
12	ミュートの解除の操作により、雑音が入る/発言がしにくい環境であった
7	出席確認に時間がかかっていた
	教師が来ないことがあった
	「zoomなどの使い方が分からないので授業はレジュメ配布のみにします」という教授も居たので、実際に利用していた方は良かったと思います。
	システムに関する学生からの質問に答えられなかった教員が多かった。(ex.OneDriveアクセス制限など)
	各教授によって授業形態に大きな差があった
	①教員が使い方を理解していない。100人以上が受講する授業で、zoomの上限を100人に設定していたため受講できない学生が続出した。
	②回線が途切れる。大雨の日で教員のWiFiの調子が悪かったのか、教員の声がプチプチ途切れて聞こえない、途中で教員の回線が切断されるなどのことが複数回発生した。
	教員にもよりますが、全ての授業がスムーズに進行できていたとは到底言えないと思います。
	zoomで話しているだけでは授業内容が理解しにくかった。
	zoomによる授業の有無が当日までわからない。もしくは当日突然のレジュメのみ。
	同じ授業なのに紙ペーパー一枚のレジュメで終わられるのは納得いかない。
	ライブの場合、先生の思い付きで進んでいるところをたまに感じた点。
	レジュメをただ載せ、理解も深まることなく課題を提出させるだけのすれ違った授業が多かったため
	通信上での問題はなかった。授業にオンラインにアレンジしていなかったからつまらなかった。
	できないからと言って、レジュメ(といえるようなものではないが)のみを掲載した。
	演習授業で、長い時は一回で授業時間が5時間以上延長されていた点
	人数制限が時たまあった。音声が聞き取りづらい。
	録音中の動画再生に困っていた。学生がどれだけ理解できているか不安そうだった。
	各授業ごとで形態が全然違ったのでとても苦戦した
	意志の疎通が難しい。質問の解釈違い等がしばしば起こる。対面授業とはかけ離れた性質の空間だからだと思ふ。
	先生にメールで質問したくても、メールアドレスが記載されてなかった点など。
	教師の方も生徒の方もウェブ会議システムになれていなかったためぎこちない状態が続いていた。
	WEB授業になったのにも関わらず、通常の授業を行おうとする。過去のレジュメのコピー。黒板などがないにもかかわらず、全く同じ授業。理解が進まない。
	先生が無料版を使用していたため、40分おきに入り直さなければならなかった。しかも先生から入り直してください、のような指示はなし。
	いきなりグループに分けられてすることもはっきりしないまま放置されることがあった。
	連絡もなく小テストの日程が変更されていたり、授業映像の不備が多々あったため。
	パソコンの画面共有を使ってやりやすかったのか、生徒がわかっていないまま講義がどんどん進んでいくため
	これは生徒側にも問題があるが、みんなからの視線が集まる場での発言を苦手とする傾向が対面の授業よりも強くでている。
	情報のテストの日程がズレた。
	ontimeで始まらない。授業時間外にオーバーする。
	時間になっても授業が開始されないなど
	会話がターン制になる。グループワークが若干時間がかかる。常にカメラを向けられているような不快感。
	一回生のため、会ったことない人と急に話し合いを行えなかった。
	PPTに不備があったり、講義の動画が翌週に送られてきた点
	これは生徒側にも問題があるが、みんなからの視線が集まる場での発言を苦手とする傾向が対面の授業よりも強くでている。
	発表するタイミングが難しく、スムーズに授業が進んでいなかったと感じた。
	授業の途中で止まることや本来の授業時間を過ぎても話し続ける先生がいた。途中退室は認められず授業の終わりに生徒の出席確認がされた。授業の終わり際に、退出をした生徒への厳しい処罰を伝えられた。精神的に追い詰められ授業に参加するかどうかを数回迷った。体調不良を理由に欠席の旨を伝えましたがzoom内への参加とビデオの接続だけは求められた。
	授業時間通りに始まらず終わらない。質問対応に時間を捉えている。
	授業時間のオーバーや内容理解の難しさなど
	知らない人ばかりの空間なので、顔出しや発言が消極的になったり、ぎこちなさや戸惑いがあるから
	zoomでの発言でどうしても議論がしにくかった
	TAとの連携が上手く取れていなかった点
	Zoomである必要性を考えられていなかった。
	使いこなせている先生や、そうでない先生の差が激しかった。教員への一律の指導が必要だと思う。
	教授側がオンラインソフトを使いこなせていない感も否めない。しかし、生徒には様々なことを求めるため、教授と生徒との間で色々なズレがあった。(マナバ上でリアルタイムで行われるテストが、提出フォーマットの不備で提出できない、など)
	質問対応が不十分であると感じられる場面があったため
	zoomで授業のフォローをして欲しい
	zoomのURL案内が講師によってメールだったりマナバのスレッドだったりバラバラで統一して欲しかった
	本来の対面授業で行われるはずだったものが行えなかったことが多々あったから
	Zoomで行わなくても行えることをZoomで行うことで、スムーズではなかった
	zoomのアカウント問題で人数制限があった

人数制限により入室不可能な回、電子機器の不具合による遅延、聞き取りにくさ、音声が飛ぶことによって一部授業内容がわからず、加えてテスト範囲であったためきちんと講義を聞いていても回答が出来ない。

急に明日zoomの授業をしますなどのものがあつたため。

説明無しに成績の付け方が変わったりした

使いこなしている先生は使っていたが、そうでない先生は使えずに、レジュメを配るだけになっていて、一方的な授業になっていたから。

インターネットの繋がりが人によって違うからコミュニケーションが取りにくかった。

序盤のころに画面共有など使ったことのない機能に戸惑った。またゼミ内での発表も聞いている側の反応を取得しづらいのでやりづらいと感じた

Q14.春セメスターの講義について他に気になった点があれば記入してください。

回答数	自由記述
114	課題の量及び件数について
53	学習で使用する資料について
37	講義形態について
32	学費及び学費と講義の関係性について
29	講義の質について
22	課題提出後のフィードバックについて
19	授業時間について
18	期限について(課題の提出期限やレジュメの公開期間など)
11	シラバスについて
11	生活状況について(食や健康面など)
10	オンライン講義に伴う教授の対応について
9	講義の出席確認について
8	課題について
8	学生生活(友達や就活、資格の勉強など)について
8	講義の内容について
8	告知(課題を出すタイミングが締切の直前や告知がないなど)について
7	講義資料がレジュメのみ(動画や音声、オンデマンドなし)である
7	課題や講義内容についての説明不足について
6	メールについて(メールの対応やメールアドレスが知りたかったなど)
5	学習に必要な資料の印刷について(コピー代や機器について)
5	実験などの実習科目について
4	講義の意義について
4	レジュメによる理解度について
3	履修登録について
3	レポートについて
3	成績について
3	コミュニケーションがとりづらい
3	講義についての質問の対応について
3	対面講義の希望について
3	manabaについて
3	1回生に対する支援の要求について
3	講義動画時間について

Q24.春セメスター中の課題について何か気になる点があれば記入してください

回答数	自由記述
183	課題が多い
51	課題を提出した後、フィードバックがなされなかった
19	自主的な学びにつながらなかった(学びが広がらなかった)
13	講義の質が悪く、課題をこなす知識を得られないまま課題をこなしていた
12	講義が各教員の裁量に任せ過ぎていると感じた
11	課題の提出期限が1週間よりも短かった
10	課題に対する説明が少なく、どうこなせばいいかわからなかった
9	課題に対して、教員とのコミュニケーションが取りづらかった
9	manabaの不備
8	課題に対するフォローが非常に少なく、課題をこなすのが困難だった
6	課題の提出期限を明確にして欲しい
4	課題が多すぎて自主学習の時間が取れなくなった
3	課題の採点基準がわからなかった
3	講義で習ったことのない範囲が小テストに出てきて困惑した
3	課題を行うことで知識が深まった
3	成績評価に不信感がある
1	課題の再提出ができず困った とにかく、先生全員が暇だから、課題出すねっていうのが多く、とても多かった 知らない間に出ていて、提出期限がすぎていることがあった。課題の量が多く、どうしても優先する科目と後回しにする科目が出てくるので、その結果途中で単位を諦めた教科があった(専門科目を確実に取得するために一般教養の単位を諦めるなど) 授業回数数の設定が教授によってバラバラで非常に困惑した。 学習時間全体の中でレポート課題をする時間がほとんどであった。授業に集中したいのでレポート課題の量を減らし、マナバ上での期末テストを増やしてほしいと思った。 エラーで受けられなかった方が何度か見かけたが、再提出や再テストなどが認められていないことが多く、オンライン上での取り組みなので、何かしらのチャンスはあるべきだと思います。 最終課題の提出期限が各先生方で連携が取れてないのかわからないけど、同じ提出期限までのやつが4個とか5個とか重なるのは結構しんどかった。 小テストは回答が不正解であると判明しても、どうしても間違えたのか理解できなかった。 また課題は文章の質よりも量を優先してしまった。 全ての講義で、学期途中の小テストと課題の成績・評価の有無を統一して欲しい。

ほとんど落ちたと感じる。 レジュメあげるだけだと文字でしか判断できず、対面ならば黒板等を利用して図で説明してもらえたから。 一回生で大学での勉強の仕方がよくわからないので、課題にフィードバックがないのが一番不満だった。
何度聞いても質問に答えてくれない授業があった。 量が多すぎると感じた。特に1回生はレポートの体裁がわからなかったり、パソコンの操作にも慣れていない人が多いため大変だったに違いない。 多すぎる。課題＝授業での学びは限界があると思った。
難しいし多いし誰にも気軽に聞けないし本当にしんどかったです。授業1時間半に加えて課題一つだけで三時間とられるようなこともありました。ある日突然何もできなくなってご飯も食べれないし眠れないし授業も受けられず課題もできなくなってしまった程です。本当に苦しかったです。課題の量はおかしいとずっと感じてましたが友達もできず誰にも相談できないので私が出来損ないなんだと思っていました。
課題の提出量が多くとも、学生が時間を持て余しているのと勘違いしていないだろうか。コロナ期間とはいえ、働きながら課題をこなしてる学生もいるのだ。また、パソコンでなれない課題が多い者への配慮もかけていると言えよう。その点に関してどうなのかということである。 多い。分かりにくい。出しときゃいいってもんじゃない。もっとちゃんと理解したいのに、「理解してない人なんていないよね？」が基本形のスタンス。課題をこなすだけで時間が経過する。
初めての大学生活であるため基準がないが、やや多いと感じた。なぜなら、睡眠時間が削られることが多々あったから。 従来大学入校可でのフォローアップのような、学部ごとの分かれてどんな講義の内容でもいいので質問を受け付けます～といった感じの部屋があればいいなと思いました。
なぜか提出した課題を逐一削除する教授がいた。自分の解答を記録する手間がかかり面倒だった。 レポート作成のための資料が提示されたものに限られる中、剽窃などは厳しく罰せられるため、そのボーダーラインの判断が難しいと感じた。 特に1回生は資料検索に苦労していると思う。
本来であればほぼ全ての授業がテスト1発勝負だったはずだったのが全て平常点評価になり、毎回のよう課題が出されてしんどかった。1コマの授業で3時間4時間課題をこなすのにかかるのが当たり前で、アルバイトしようにも無理だった。授業の消化にも1コマあたり90分で終わるものは少なかったし、それに加えて課題の量や時間はキツすぎた。なんとかして欲しい 授業実施の証拠として、普段はコミュニケーションペーパーで終わりだった作業が複雑になったのは理解難かった。どの科目も無理に出してる感が否めなかった。 また、第一回目などは特に、履修修正期間を無視しての課題提出。履修修正した人はどのように動けば良いのか分からず、修正できなかった。 グループワークは希望者だけか、回数を減らすようにして欲しい。強いストレスを感じている者がいる。
課題提出してもフィードバックがないので正誤がわからない。特にレポート形式の課題ではフィードバックを必ずしてほしい。 課題の量が多く、寝る時間がない。 課題を提出するという目先のことしか考えられず内容を理解しているかと言われるとそうではない。 課題に追われ、プラスαの勉強をする時間がない。 それなのに、どのどれが答えたアンケートかわからない「web授業になって学生の勉強時間は減っている」という記事を鵜呑みにした先生が、勉強時間が足りないと言うのでストレスだった。

Q29.【差異があった項目がある方へ】どのような部分に差異を感じたのか教えてください。

回答数	自由記述
166	講義形態の変更に伴うシラバスの成績評価方法の変更を行わなかった(試験なしだったか試験あった、急に出席や閲覧回数等も評価してた、評価方法がよく分らなかった)
108	講義形態の変更に伴うスケジュールの変更を行っていない
91	授業形態の変更に伴う授業内容がシラバスの変更を行っていない
24	講義形態に伴い使用しない資料の連絡をしていなかった(教科書、参考書など)
8	講義方法の変更後、学生への負担が大きくなった
7	元々の講義方針への意見(到達目標を達成できない)
3	シラバスと実際の講義に大きな差はなかった
3	web講義に沿って良い講義形式になっていた
2	学生のシラバスの確認不足 オンラインを活用した形態としか記載していない点。 レポートならレポートのところに評価配分をしっかりと書いて欲しい。 興味をそそる等の内容が書いてあったが、興味が最後までそそられなかった 受講生の達成目標は特に、実技の多い映像学部生にとって満たされない部分が多い。知識においても定期的にレポートを提示されて機械的に取り組んでいる部分があるので、知識の定着につながっているのか確認しづらい。 様々な面ではあるが、とくに感じたのは、授業外学習についてで、書いていないことをするように指示されることが多かったです。 シラバスの予定部分 授業外学習の量が書かれていなかったが、実際は各週ある科目があった。 授業スケジュールの時間が春セメ半分くらいで変更になった授業があり、大変困った。 授業の進行度合いにはあまり差異はなかったが、授業日数と課題の量があていないと感じた。 出席についての項目に実際と記載の間に差異があった。 授業スケジュールを変更するのはいいが、その分レジュメの期間や課題の期間を長くしてほしい。 対面授業の時のものの使い回しと思われるものがあった。 成績評価方法と、課題などが、対応していないような教科があった

Q30.シラバスに記載してほしい項目があればお聞かせください。

回答数	自由記述
10	授業の形態について
9	成績評価方法について
9	課題に関する情報について
5	受講者数の情報について
2	レジュメ配布について 過去の授業の様子について 受講者の氏名 オンライン授業の場合における学生各自の必要な準備について 最終授業日について 併せて受講すると良い講義 補講日に授業を行う場合、その日付 教員への連絡先 授業アンケート結果、受講者の学部比、受講者の回生比、前年度の成績分布、教員紹介ページへのリンク、備考ではなく、一つの項目として「教員のコメント」

Q32.春semesterにおいてシラバスや評価方法について何か気になった点があれば記入してください。

回答数	自由記述
12	web講義になってもシラバスが変更されていなかった
43	成績評価方法が不明瞭だった(途中で追加や変更があった)
6	授業運営がシラバスと違った(途中でシラバスが変更した)
4	フィードバックや小テストの得点開示がない
5	授業形態がシラバスと異なった PF評価に移行した基準が曖昧。 オリエンテーションが1時間しかなく、学生証を貰うのみであった。シラバスの見方も、授業の選び方もよく分からないまま春semesterが終わった。授業のとり方が正しいのかも分からない。 シラバスに記載されている評価方法と実際の評価方法が違うのではないと思うくらい厳しい評価方法をコースニュースに書かれた。(一度でも提出できなかった課題があれば成績評価を行わないなど) そのような厳しい評価をするのであればシラバスにも記載していただきたい。
	評価方法や授業内容が変更になったのに抽選科目を取り消しできなかった点が不満。特に内容を重視して履修したので内容が変わったのに取消不可は残念であった。
	定期試験が行われず、全てレポートになるのなら受講登録期間の時点でシラバスに中間レポートも含め、レポートの形式、文字数を教えてほしかった。
	オンライン授業のシラバスをより精緻に書いてほしい。
	1回生への成績に関するフォローが少なすぎます どれくらいやったらどのくらいの成績がつくのかかわからないまま半年を過ごしました 全ての講義の先生からフォローをしてもらうことは出来ないと思うのでフォローをしてくれる人を作って欲しいです

Q38.講義において最適であると感じたツールはどれですか？

回答数	自由記述
	Google Meet
	YouTube(ライブ)
	media site
	podcast
	必要がない
	E-lecture
	簿記入門で使用しているE-lecture
	mediasite
	podcast
	授業による
	mediasite
	どれも講義という形態には向いていない
	Podcasts
	授業によります。少人数のゼミなどならzoom、大講義ならzoomウェビナーもしくはオンデマンド
	Cisco

Q40.講義においてオンラインコミュニケーションツールによる学習の阻害があった方は詳細を記入してください。

回答数	自由記述
36	通信環境によって学習環境に悪影響があった
22	図書館に入れないのが勉強に響いた
14	manaba+Rが使いにくかった
13	家ではなかなか集中できない
9	情報が多すぎて自分の欲しい情報が手に入らなかった
7	眼精疲労など心身に悪影響を及ぼした
7	印刷費がかさんだ
5	施設が使えないので勉強に支障をきたした
3	教科書が買えないなどの不備
	講義で使用するツールを統一してほしい
	勉強に対するモチベーションが低下した
	対面より満足だった
	課題が多くて一日中パソコンに向かい合う日々が目が悪くなってしまったので、仕方ないことだと分かっていますが、すべてパソコン上でしなければならないことに対して苦痛を感じました。
	家に一人でいる空間を作りづらい。
	学生オフィスからの課外自主活動についてのお知らせなど学習面以外のお知らせが多いことで学習面のお知らせを見逃すということが起こった。 自分で必要のないお知らせを削除する機能が実装されるとかなりみやすくなると思うので大学側と検討していただけると幸いです。
	課題提出をする際などmanabaの負荷制限で20MBになっていたことがかなりストレスだった。映像学部で20MBは足りない
	土曜授業日にOneDriveがダウンしたが、事務室が閉まっていたためすぐに対応できず、学生と教員のどちらも困惑していた。 これを機に授業日くらいは休日出勤やテレワークなどで事務室も仕事をしてほしい。
	講義において最適であると感じるツールは一つではなく、実験などリアルタイムで質問したい内容が多い授業はZOOMでライブで行ってほしいし、そういった必要がそこまで感じられない授業はいつも使い慣れていて見やすく機能も豊富なYouTubeでやってほしいと思った。 一つの授業で一定期間PowerPointをOneDriveにあげている先生がいらっちゃったが、時間を戻したり進めたりすることが出来ず、一度止まってしまうと最初から見直さなければならず大変不便であったのでPowerPointでの配布は出来る限り控えていただきたく感じる。
	レジュメの印刷にかかる費用や、パソコンの充電などを考えると、支給された3万円では到底賅えていないと思います。
	講義資料がこれからも増えることを考えると、PCの容量が心配
	Web授業になったものの、授業料は変わらず例年通りのためもったいない
	LIVE授業の際の指名発表は無くてもよい。
	講義内で指定された課題を行うためのツールがMacに対応していないものがいくつかあった。 大学のデータベースを使うようになるようにするための設定やインストールが難しく、めんどくさい工程がいくつもあり諦めてしまった。大学に行ってデータベースを使用しようにも大学や図書館に入るのに事前に予約があるので、どうにかしてほしい。
	ディスカッションや他学生との交流ができない

Q43.学習環境について何か気になった点があれば記入してください。

回答数	自由記述
-----	------

36	通信環境によって学習環境に悪影響があった
22	図書館に入れないのが勉強に響いた
14	manaba+Rが使いにくかった
13	家ではなかなか集中できない
9	情報が多すぎて自分の欲しい情報が手に入らなかった
7	眼精疲労など心身に悪影響を及ぼした
7	印刷費がかさんだ
5	施設が使えないので勉強に支障をきたした
3	教科書が買えないなどの不備
	講義で使用するツールを統一してほしかった
	勉強に対するモチベーションが低下した
	対面より満足だった
	課題が多くて一日中パソコンに向かい合う日々が目が悪くなってしまったので、仕方ないことだと分かっていますが、すべてパソコン上でしなければならないことに対して苦痛を感じました。
	家に一人でいる空間を作りづらい。
	学生オフィスからの課外自主活動についてのお知らせなど学習面以外のお知らせが多いことで学習面のお知らせを見逃すということが起こった。
	自分で必要のないお知らせを削除する機能が実装されるとかなりみやすくなると思うので大学側と検討していただけると幸いです。
	課題提出をする際などmanabaの負荷制限で20MBになっていたことがかなりストレスだった。映像学部で20MBは足りない
	土曜授業日にOneDriveがダウンしたが、事務室が閉まっていたためすぐに対応できず、学生と教員のどちらも困惑していた。
	これを機に授業日くらいは休日出勤やテレワークなどで事務室も仕事をしてほしい。
	講義において最適であると感じるツールは一つではなく、実験などリアルタイムで質問したい内容が多い授業はZOOMでライブで行ってほしいし、そういった必要がそこまで感じられない授業はいつも使い慣れていて見やすく機能も豊富なYouTubeでやってほしいと思った。
	一つの授業で一定期間PowerPointをOneDriveにあげている先生がいらっちゃったが、時間を戻したり進めたりすることが出来ず、一度止まってしまうと最初から見直さなければならず大変不便であったのでPowerPointでの配布は出来る限り控えていただきたく感じる。
	レジュメの印刷にかかる費用や、パソコンの充電などを考えると、支給された3万円では到底賅えていないと思います。
	講義資料がこれからも増えることを考えると、PCの容量が心配
	LIVE授業の際の指名発表は無くてもよい。
	講義内で指定された課題を行うためのツールがMacに対応していないものがあるのがいくつかあった。
	大学のデータベースを使えるようになるようにするための設定やインストールが難しく、めんどくさい工程がいくつもあり諦めてしまった。大学に行ってデータベースを使用しようにも大学や図書館に入るのに事前に予約があるので、どうにかしてほしい。
	ディスカッションや他学生との交流ができない

Q47.新型コロナウイルス禍を受けて、生活拠点に変化はありましたか？

回答数	自由記述
	引越しが行えていない
	渡日出来ていない
	下宿先を変えた
	実家に戻ったが、課外活動により下宿へ戻った

Q51.【課外自主活動をされている方へ】新入部員と既存部員の交流機会について(顔合わせ含む)

回答数	自由記述
	新入部員の勧誘がほとんど行えていない
	部分的に交流したのみ
	zoomで交流を行ったかが不十分を感じる
	対面での交流は一切ない。
	オンラインのみで実際に会ってはいない
	全員とは交流できてないが、数人との交流はある
	10月からもし新歓に近いものが開催されるなら、新入生を縛ってしまうことにならないかと考えて、敬遠してしまった
	沢山新入部員が入部してくれたが画面上でしか交流できていない。
	全員とできてない
	オンラインでの顔合わせ、交流を複数回行った
	顔合わせや会議は昨年の秋セメスターに実施済み
	lineのオープンチャットはあるが交流と呼べるのは微妙
	同キャンパスのみ複数回活動した。
	Zoomでの対面を経験したことがある

Q52.【課外自主活動をされている方へ】自団体の部費について

回答数	自由記述
	1年生なのでわからない
	春学期分は徴収せず、秋学期は今後の大学からの連絡次第で決めることになっています。
	一回生であるため、知らない
	部費についてはよく分からない。
	徴収されていないが、もしされるなら払いたくない。
	オリター団
	対面活動ができないにもかかわらず部費を徴収するのは部員に悪いため、徴収しようにも徴収できない。
	部費徴収の手段がなく、規則上規定の額の徴収はあるものと思われるがまだ徴収されていない。
	まだ払ってない

Q54.【新たに課外自主活動への参加を検討されていた方へ】どういう情報提供があればよかったですか？

回答数	自由記述
22	団体の基本的な情報を知りたい(人数や活動頻度、連絡先、写真、活動内容など)
16	情報場所をmanaba+Rなどに統一してほしい
15	団体の雰囲気や体験できる情報がほしかった
14	活動スケジュールや現在の活動状況を知りたい
11	情報を一覧化してほしい

10	活動への参加方法を知りたい
8	動画等オンラインコンテンツを用いた情報がほしい
2	もっと早く情報がほしい
	どのような企画なら実施してよいか、具体的な説明が欲しかった
	情報提供されたサイトへの通知やアクセスを改善して欲しかった。
	もっと気軽に参加できる交流会の頻度を増やして行って欲しい。大学の授業が始まる前に課外活動の広報は行って欲しい。
	LINEグループができたのはいいが、宣伝が少ない気がする
	二回生以降も受け入れ情報が欲しかった
	サークルの活動内容をもっといろんな媒体やオリエンテーション時に冊子で配ってほしかった
	いつ新歓があるのか、今年はやるのか いつサークルに入ったら良いのか
	Instagramのアカウントがあるものはそれを紹介する
	サークルのズームのアーカイブを残して欲しかった
	どの媒体で連絡が取れるのかわかると良かったかなと思う
	学校に行ったらもらえる冊子の情報を見られたら良かった。
	わかりやすく活動内容を示した上での勧誘
	もっとサークルの許可数を増やして欲しい
	どういう風に活動しているのかをもっとたくさん詳しく教えてほしかった
	新歓イベントの有無。
	非公認の団体の紹介

Q55. 学生生活について何か気になった点があれば記入してください。

回答数	自由記述
38	課外活動に対する不満・意見(活動再開申請に関する不満や団体内の交流、情報発信など)
29	対面での交流機会減少についての不安、コミュニティ生成の要望
25	その他
22	学生生活に対する不満や不安(入構禁止、アルバイトへの影響、食事についてなど)
12	講義形態に対する不満・意見
10	学業に対する不満
9	学費設定への不満
9	課題過多による生活変化や健康問題について
8	オンラインによる生活の変化や健康問題について
8	新入生歓迎企画の開催の希望

Q65.【検討したと答えた方】退学・休学を検討した理由を記載してください。

回答数	自由記述
146	十分な学びを得ることが出来ない
45	学費納付に不安を感じた、授業形態に応じた学費ではないと感じた
33	満足のいく学生生活が送れない
17	学ぶ意欲がなくなってしまう、授業形態に価値を見出せない。
15	大学施設が利用できなかったため
12	多量の課題により、大学での勉学での意義を見失った
8	精神・体調を崩した
4	頼る人がいない
4	課外活動の機会が失われたから
	誰とも交流のない中、授業動画と、方向性の分からない課題に毎日向き合っているうちに、徐々に自分が何をしているのか分からなくなり、やる気が失せ、莫大なお金を払って行く大学の授業が、意味のない、陳腐なものに感じた為。
	キャンパスへ入構できず使いたいサービスを十分に使うことができないにも関わらず同額の学費を払うのであれば、キャンパスへ入構できるまで休学するのが賢明な判断ではないかと考えたからです。
	1学期にかかる学費と授業の満足度が比例していないのと休学費が5000円であったこと
	課題の量により、本当にこんなことがやりたくて大学に入ったのか考えるようになったから。
	授業料が無駄になると感じたためです。しっかりとした授業を受けられないのであれば、休学して語学や資格などの自主的な学習に時間を費やした方が有意義ではないかという考えもありました。
	適切な授業やフィードバックもなくただ課題をこなし提出して終わりの授業が多く、タスク作業のような課題提出のためだけに多額の授業料を払っている気持ちになったため
	また、大量の課題に伴い睡眠時間も取れない日が何度もあったため
	対面授業の方が、先生に気軽に質問ができたり、受講生同士で意見交換ができたりしたので、オンライン授業は物足りなさを感じた。しかし休学によって留年すると、下宿費用がかさみ、経済的に厳しいため、断念した。
	実習が全て潰れてしまい、その補講も満足に行われなかった。同じ学費を払っているのに例年と同じ学びを得られないのは不公平であるから。
	このままWeb授業が続くのであれば、学習効果が低いと考えたため、対面で授業が受けられるまで待とうかと思ったから
	高額な学費に見合う学びを得ることができなかったから
	4回生で学びたいと思っていた講義をオンラインで受けたくないと思い、休学を検討しました。

Q66. 春semesterにおいて経済状況について気になった点があれば記入してください。

回答数	自由記述
59	授業料を減額してほしい
41	家計の急変がないため申請が出来なかった
23	施設が使えないことに対する学費の不満
19	印刷に対する支援をもっと行ってほしい
14	実家に帰省したが、家賃を払い続けている
11	アルバイトの収入が減少した、アルバイトができなかった
6	親の収入が減少した
4	教科書購入によってお金が厳しくなった
2	食費が増加した
	一律3万円という所が非常に理解できなかった。学部ごとに対応が異なるべきであると考えている。映像学部では、ダウンロードする資料やデータがとても多く、重く、大学から支給されたルーターではまかなえなかった。

学費に見合った学び、提供できていますか。学生、保護者が納得いく形で説明してほしいです。

正直1回生の春学期であるから出費が少なかったように思える。学部の特性上、家でソフを扱うとなった場合、今の私の学習環境では十分に使用できない。経済状況的に学びの幅が狭められる可能性が今後あることを否めない。授業外での自主学習の質については今の私の状況でも経済状況により余裕が全くない。

奨学金の第一種、二種どちらも受給してもコロナ禍における支援をすべていただいてもアルバイトをほぼ毎日やって課題をやっていたので毎日3時や4時に寝る生活を送っていました。普段の生活もまともに送れない中で大量のレポートだけだすような授業ばかりならば休学していただけた方がよっぽよかったです。なんのために学校に通っているのかアルバイトしているのかお金を払ってもらっているのかわからなくなりました。

バイトができず、大学に通えないのにも拘らず、1人暮らしの家を維持することは負担に感じている
大学からも、1人暮らしの学生に向けた補助金や食品の提供など、サポート体制を整えて欲しい

オンラインでの授業形態確立のために費用がかかるのは理解できるが、それにしても学費が一切変わらないというのはどういうことか。特に映像学部などは今年から学費が上がったとも聞く。にも関わらず学校の施設は使えないとなれば、我々学生は立命館大学を選んだ理由がわからなくなる。帰省をするのとはばかれるこの状況下で、アルバイト先が経営を休止したり短縮営業したりして金銭的に非常に困窮する学生は多いと思われる。奨学金という名の学生ローンを持ってでも大学に来た人もいる。しかし施設は使えず学費は一切の減額なく徴収というのは如何なものか。今一度特に学費については考え直し、学生に対するフィードバックを期待する。

経営学部のパソコン補助金がまだこない。

授業と課題が多くて毎日夜遅くまで頑張っていたので、電気代が増えている

国内にいない人への対策やフィードバックが足りないと思います。

バイト先が休業したため、生活費が全て無くなった

知らなかった情報もあるため、可能な限りmanaba+Rの緊急連絡の所に記載して頂きたいです。

大学のコピー機は使わせて欲しい。年間1000枚を無料で印刷できるのに、それができない。また、元もとは印刷されて渡されるはずのレジュメを印刷するのだからその支援はしてもらいたい。

入国制限で日本に行けない留学生は大学からの給付を貰えないこと。申し込みしたくても、海外口座はできないため、申し込みもできないし、9月には行けるかわからない状況なのに締め切りが9月までなので貰えるか心配。海外口座でも申し込みできるようにしてほしいと思う。

9万円を必要ない人が受け取っている印象がある。本当にお金が少ない人に分配すべき。

圧倒的に支援が不足している

経済状況の継続的な観察、支援が必要だと考える。

実習先が変更になり、選考基準等も教えていただかないのにも関わらず、交通費がかかる人とかからない人がでてくるのは不平等だと感じています。

1律3万円給付の根拠もわからないため、それは学生に説明するべきだと思う

学生支援緊急給付金で非課税世帯は20万とされていたが10万円しか振り込みがなかった。

Q67.その他、春セメスターを通しての意見などあれば記入ください。

回答数	自由記述
111	学費に対する不満
45	課題量が多い
44	秋セメスターは対面を希望する
26	秋セメスターはweb講義を希望する
22	ストレス等精神的にきつい
10	友人関係を築くことができなかった
8	課題に対してフィードバックしてほしい
5	秋セメスターは対面とwebの両方を希望する
	学校に行ってもなく、施設も使用していないのに、学費が今までと同じ理由がわからない。三万円が我慢してくださいというふうな大学側の処置に対して不満しかない。学費がどこにどのように使われているのかきちんとデータ化して、生徒に見せるべきである。 (一部省略)春セメスターを通して一番感じたことは、授業形態や授業回数まで教員に一任しすぎではないか、ということです。特に授業回数に差があることについては一切説明もなく、学習の質にも繋がるため理解しがたかったです。
	秋セメスターにおいて、対面授業とオンライン授業のどちらかにしてほしいと思う。 オンライン授業では課題の量の多さから負担が大きいが、通学時間や交通費がかからないこと、下宿生が実家で生活できるというメリットがある。対面授業も含むようになると、オンライン授業のメリットが消え、課題が多いことや授業の質の低下といったオンライン授業のデメリットだけが残ることになり、学生の負担がさらに増加すると思うためだ。
	課題が多すぎて、まともに資格や興味のある分野についての本を読めなかった。とりあえず、課題出しとけばいいと考えているような課題の出しがただった。レポートの書き方をしっかりと教えてくれることがなかったため、未だにどのように書けばいいかわからない。書いた文章が剽窃になるか、いつも頭を悩ませ提出しています。
	今も、コロナウイルスは市中に蔓延しています。通学途中のバスも怖いですし、特にキャンパス内でのクラスターはどう考えても避けられません。一部再開した他の大学ですすでに何件もクラスターが起こっています。 秋学期からの対面授業はもはや不可能です。しかし対面授業を望んでいられる新入生や学生、教授もたくさんいらっしゃるのには理解しています。来年以降、もし、万が一対面授業を再開するにしても、授業を対面で受けるのか、オンラインで受けるのかは学生が選択できるような仕組みづくりをお願いします。 また、秋学期の授業体制について、出来るだけ早く確定発表をお願いします。 昨今、ネットやTV番組などで大学生の「対面授業を受ける権利」の主張が多く見られますが、対面授業を望んでいる学生がいる一方で、キャンパスに通うのが怖くて行きたくない生徒・親がいることも絶対に忘れてください。よろしくをお願いします。
	今回のリモートでの授業形態から、友人と会い、共に勉学に励むことがどれほど今までのモチベーション向上に良い影響を与えてくれたかに気付くことができました。
	・マナバ上でプロジェクトを利用して会ったこともない受講生とディスカッションをする授業がいくつかあったが、本当にやめてほしい。相手はプロジェクトに気付いていないのかわからないが、応答が一切なく、ディスカッションを進められないことがあり、その課題が未提出になったことがある。オンライン上はグループではなく個人でできるものに限定してほしい。
	・全体的に授業と課題が多くて春セメがあつという間に終わってしまった。先生も大変だということは十分承知しているが、私たち学生もバイトをしている人がいたり、パソコンや携帯を見過ぎて余計に疲れてしまったり、すべての時間を授業や課題に費やすことができない。復習をしたくても、課題があり十分に知識を身につけることができない。春セメの学習が身につけているかどうも不安。
	(一部省略)学習も全てオンライン化、図書館や実験ルーム等無条件に使用することができない環境でどのように学習意欲を保てばいいのかわからない。 パソコンやWiFiの環境を整えるために費用は以前よりたくさんかかる上、コロナのせいで収入は激減、そして大学に納める学費は以前と同じなのに、明らかに以前と同じ環境を教授でできているとは思えない。 学習環境を今すぐ対面で設備を開放することはできないかもしれないが、課外活動の再開等今すぐに動いてもらえる場面はなかったのだろうか。
	授業時間の長さについては本当に改善してもらいたい。 課題を考慮した授業時間の設定ができていない授業がある。 対面に比べて学生の負担が非常に大きいとかんじる。 また、レポート試験の評価基準についてもう少し具体的にだしてほしい。 専門科目で、レポート試験というのは法学部としては珍しいため、どのように対策すればいいのかわからない情報がなく不安である。 教員や事務の方々に大きな負担がかかっていると思うが、今一度見直していただきたい。

授業動画内で補習についての連絡がされていたが、クラスごとに閲覧日が違うため、私が閲覧した日には、補習授業の課題提出日が過ぎていた。配信されたレジュメにも補習についての連絡はあったため、課題提出が出来なかったことは私の責任であるが、クラスによって授業で連絡を受けていたり受けていなかったりするのには不平等な気がする。

課題提出日より前に、私のクラスが授業を受けていたら、補講の存在に気付いて課題を提出できたと思うと残念です。

ウェブ授業を通して成績評価方法など、細かい点を記載していない教授がいる。それで評価を下げられてもわからない。例えば、ウェブ授業は複数人でいい、個人のアカウントで動画再生をしない場合など、マイナス評価をつけられているかもしれない。そう言った、アカウント関連の視聴履歴などが評価に加わるのかは不明だが、その他も同様に明確にしてほしい。

今回春セメスターは仕方なかったが、秋学期は少人数で行う授業は対面でしてほしい。小中高と対面で行って大学だけ逃げ回っているようじゃいつまでたっても改善しないと。正直オンライン授業で得られたものは皆無に等しい。自分も大学で友達も出ず、毎日パソコンとにらめっこして鬱になりかけた時もあった。それでも秋からは対面でできると信じてやっていたのに秋もオンラインだと確実にうつ病になる。大学は学習するだけの場ではないと思っている。Twitterで、”大学生の日常も大切に”が流行ったように特に1回生は追い詰められている。友達もいない状況だからだと思う。だからせめて秋は少人数授業は対面でしてほしい。もし秋もwebだったら大学を辞めるだけの覚悟はある。

講義の形態が変化すると唐突に教科書を指定する者がいましたが、承知しかねる対応であったと考えます。というのも、コロナ禍であるため外出はしづらいため、生協以外で教科書が売られていることはまず見受けられません。ではネットで注文すればいいではないかとの意見が聞こえてきますが、ネット販売は極少数でしかなく瞬間に売り切れてしまいます。如何せんと頭を抱えている間にも、指定した側は無慈悲に、悠々と、さも当然であるかのように教科書前提の授業を進めていきます。受講生間で甚大な差が生まれる、この事実は大きな問題であると考えます。

春学期は教科書購入後一度も学校に行かなくても問題なかったが、秋学期はどうなるのか。もしも受講予定の講義が全てWeb授業であったら行く必要はないのか。実家が京都から遠いため、一度でも行く必要があるなら下宿先に移りたい。住んでいなくても家賃は払わなければならないし、一人暮らしの経験も必要だと思う。だが、今の感染状況を見る限り、秋学期に学校で友達を作る機会があるように思えない。初めての一人暮らしで、家でパソコンを眺めるばかりの生活を送っていたら病んでしまいそう。大学が定めたどのレベル(最小、小、中、大、最大)だったらどのくらい人との交流の機会が得られるのを知りたい。

金銭的な補助やオンライン授業など、大学が学生のことを気にかけていることは伝わっています。しかしそれでも、限定的な印刷費の補助や、春セメスターの期間と授業量の相違に対して、納得できる説明が足りていません。授業が終了した夏期休暇に印刷補助をしたところで、誰が納得するのでしょうか。大学構内や図書館が使用できないこと、就活や進学への負担などで、学生はさまざまな負担を抱えています。大学ができる範囲に限界があることは理解していますが、学生が納得できる説明は不足しているように感じています。学生は納得しているというよりは、しかたなく諦めて大学の提示する条件を飲み込まざるを得ないという状況にあります。そのことを踏まえて学生に向けた情報発信をしてほしいと思います。

科目連絡だけでなく、緊急連絡もoutlookに通知が届くようにしてほしい。

(冒頭省略)春セメスターを通して一番感じたことは、授業形態や授業回数まで教員に一任すぎではないか、ということです。特に授業回数に差があることについては一切説明もなく、学習の質にも繋がるため理解しがたかったです。秋セメスターではオンラインか対面かを教員が決めることができる、と発表されていました。例えば1限オンライン、2限対面、3限オンラインという履修を組んだとします。その場合2限のためだけに大学に行かなければならなくなります。電車を通う学生は電車の中で1限のオンライン授業を受けるのですか？それとも1限に間に合うように大学に来いということですか？大学内でオンライン授業を受けられる体制(聞くだけではなく発言する場合もありますよね)は整えられるのですか？教員に授業形態を一任するのではなく、学校側できちんと考えていただきたいです。

私事ですが、オンライン授業で目がかなり悪くなり眼鏡を買って換えました。また、元々パソコンやスマホなどの光に弱い目なのでパソコンを長時間使用するのにはかなり辛かったです。早く普通に教室で講義を受けたいです。できればオンライン授業はもうしたくありません。

事務室の稚拙さが目立った。
教員任せにしないで職員がもっと対応するべきだ。
また、情報発信が少なすぎる。
大学は積極的に発信するべきだ。

夏休みに実験を行なっているが、感染防止対策が甘すぎだと思う。クラスターが発生してもおかしくないとも思った。

私は今年大学入学した者です。
この状況ですら致し方ないと分かっていますが、大学入学の実感が湧かない。せっかく一人暮らしとして下宿出来ると思って下宿先に乗り込んだが、緊急事態宣言を受けて4月上旬に地元へ帰省した。理由としては、4月の時点ではコロナがどれほど続くのか、長期戦になる気がしたので、家族と共に過ごしていたほうが安心だったから。
下宿先のことをもっと知りたかったが、友人も全くいない状態で1人で
春学期ずっと過ごすことは、人との触れ合いがないと生きていけないほくにとっては無理だと判断した。
そして、これ以上感染状況が酷くなる可能性は十分にあったため、行動するならば早いに越したことは無いと思い、下宿先には結局10日間ほどしか滞在しなかった。それなのに関わらず、下宿先のお金は払わないといけない状況は変わらない。正直腹立たしい。やるせない。

経済的な支援の時期が遅いです。パソコンや印刷などの施設利用可能な時間帯も、16時までではなく、せめて4限終わりの16:10や5限の時間まで可能としていただきたいかったです。

早く図書館が予約無しで入れるようになれば良いと感じる

部活動の再開が早すぎると思う。安心して取り組みない。特に今、再度自粛要請するべきだと思う。4回生にとってはさすがにもうモチベーションが上がりにません。ライブ授業をしてくれる先生はすごく少ない。ただでさえ授業を受けても分からない講義の方が多いのにレジュメを配って小テストやレポートを提出させる授業はどうかと思う。

講義ごとの課題や小テスト、レポートは適量だと思うが複数の講義を受講しているので提出期限に追われてほとんど寝ていない。
こんな状況で先生方もすごく困っていると思うが春学期と同じような形なら大学を辞める人が出てきてもおかしくない。とりあえずレジュメを配るだけの講義は絶対になくして欲しい。レジュメ見て理解できるなら大学なんか行く意味ありません。学習内容が少なくなってもいいので授業を2週に1回などにして他の講義と被らなければライブ授業をしても回線が落ちることはないと思うので全ての授業でライブ授業を実施してもらいたい。

この状況下で難しいことは重々承知していますが、各学生を各日特別に振り分け、登校日を設けてほしいです。新入生にとっては夢溢れるキャンパスライフを少しでも体感することで、学習意欲も向上すると思いますし、上回生も同じだと思います。大講義でも対面かwebかを学生自身や保護者が誓約に基づいて判断し選択できるようにするなど、できるだけ対面を実施する方法を模索するべきだと思います。学習濃度は格段に下がったのが現状だと思います。

コロナ禍の中登校することに不安があったので、春セメスターの全てをweb授業、テスト無しにさせていただき、とてもありがたかったです。秋からの対面式の授業に不安があるので、秋からもweb授業を希望したいです。しかし、秋からもweb授業にするとしたら、春セメスターでは課題が多すぎたりレジュメ配布だけでは理解ができない事が多かったため、授業をわかりやすく伝えるよう工夫したり、なにか救済措置をとっていただけると嬉しいです。

ウェブ授業を通して成績評価方法など、細かい点を記載していない教授がいる。それで評価を下げられてもわからない。例えば、ウェブ授業は複数人でいい、個人のアカウントで動画再生をしない場合など、マイナス評価をつけられているかもしれない。そう言った、アカウント関連の視聴履歴などが評価に加わるのかは不明だが、その他も同様に明確にしてほしい。

私は今年大学入学した者です。

この状況ですら致し方ないと分かっていますが、大学入学の実感が湧かない。せっかく一人暮らしとして下宿出来ると思って下宿先に乗り込んだが、緊急事態宣言を受けて4月上旬に地元へ帰省した。理由としては、4月の時点ではコロナがどれほど続くのか、長期戦になる気がしたので、家族と共に過ごしていたほうが安心だったから。

下宿先のことをもっと知りたかったが、友人も全くいない状態で1人で
春学期ずっと過ごすことは、人との触れ合いがないと生きていけないほくにとっては無理だと判断した。
そして、これ以上感染状況が酷くなる可能性は十分にあったため、行動するならば早いに越したことは無いと思い、下宿先には結局10日間ほどしか滞在しなかった。それなのに関わらず、下宿先のお金は払わないといけない状況は変わらない。正直腹立たしい。やるせない。

大学や先生方も初めてのことで対応が難しいのは理解しています。しかし、教授によってはオンラインや動画でわかりやすい講義を心がけてくださる先生もいます。そのような状況の中で、レジュメだけを説明なしに出したり、授業スケジュールを既存の補講日のまま行う先生がいたりしました。そのような人がきちんと講義をしてくださっている人と同じような評価をされているのにも疑問を感じます。また、私の受講しなかった講義ではリフレクションを含め手厚い講義をしていらっしゃる教授がいることを知りました。私はその講義を受講しなかったこともあり同じ授業料を払っているのに教授による対応差があることにとても悲しく思ったのと同時に同じ時間を取っている自分の講義を受講しなければよかったと感じてしまいました。教授間に意識の差があること、課題や期末レポートの量の調整・締め切りが期末レポート日ではないから後出しされるレポートの数々にとっても苦しめられました。さらに、膨大な量の課題に対し何のリフレクションもないことは私たちの学習意欲をかなり減少させることにつながると感じました。

正課授業、講義だけが大学の学びだと思わないで欲しい。自発的な専門書読解による学びや、課外での学友との活発な議論があって初めて大学での学びが達成されると思う。したがって、講義がしっかりできていてから通常通りの大学運営が成立している、というロジックは少々受け入れ難く思う。

授業で言っていた対応と違う対応をする教授がいて困った。オンラインでの時間制限のあるテストは機器トラブルなどを考慮して貰えなかったため不満がある。自分の責任なのですが、オンライン授業になり学習意欲が低下している中、オンデマンドの授業は後回しにしがちになり、ダラダラ受講してしまう人が多いです。

5月以降はほとんどの教員が学生のことを配慮し適切な指導を行っていたように感じる。しかし、立命館は4月～5月間では学習支援がほとんどなかった。パワーポイントなどの資料が中心で、ディスカッションや備品の活用が行えなかったことも不満である。授業料の部分的な返還を希望する。

個人的な意見としてレポート課題の授業より毎回の小テスト形式の授業の方が理解を深めることができたと感じた。対面の授業を行えることが一番だが、小テスト形式は良かったと思う。

授業ごとにオンデマンドであったり、リアルタイムでのzoom授業があったり内容の質に差があったことは仕方ないですが、やはり授業内で新たな友達関係がつかれなかったのが残念です。サークルなど課外活動も入ろうと思っただけですが、オンラインという環境では、なかなか決断には踏み込めなかったです。

春学期は教科書購入後一度も学校に行かなくても問題なかったが、秋学期はどうなるのか。もしも受講予定の講義が全てWeb授業であったら行く必要はないのか。実家が京都から遠いため、一度でも行く必要があるなら下宿先に移りたい。住んでいなくても家賃は払わなければならないし、一人暮らしの経験も必要だと思う。だが、今の感染状況を見る限り、秋学期に学校で友達を作る機会があるようには思えない。初めての一人暮らしで、家でパソコンを眺めるばかりの生活を送っていたら病んでしまいそう。大学が定めたどのレベル(最小、小、中、大、最大)だったらどのくらい人との交流の機会が得られるのを知りたい。

秋学期からの授業形態として一部授業は対面形式と聞いているが、それら授業も学生が対面もしくはWEB形式どちらか選んで受講できるようにしてほしい。

金銭的な補助やオンライン授業など、大学が学生のことを気にかけていることは伝わっています。しかしそれでも、限定的な印刷費の補助や、春セマスタの期間と授業量の相違に対して、納得できる説明が足りていません。授業が終了した夏期休暇に印刷補助をしたところで、誰が納得するでしょうか。大学構内や図書館が使用できないこと、就活や進学への負担などで、学生はさまざまな負担を抱えています。大学ができる範囲に限界があることは理解していますが、学生が納得できる説明は不足しているように感じています。学生は納得しているというよりは、しかたなく諦めて大学の提示する条件を飲み込まざるを得ないという状況にあります。そのことを踏まえて学生に向けた情報発信をしてほしいと思います。

画面を見続けたため視力が非常に低下した。zoomはとも疲れて終わった後2時間ほど寝てしまうのでこれ以上増やさないで欲しい。

私が受講したある授業では掲示板で質問等を受け付けていて、多くの受講生が課題について(期末レポートも含む)質問していたにも関わらず、先生の返信が非常に遅くまた説明も不十分な点が多かったため課題をする際困ったことが何度もありました。どんなに忙しくてもせめて1週間に1度は返信をして欲しいです。また課題の締切近くにも返信して欲しいです。

どれほど学校側が、学生を低く見ているのかがよくわかった。私立だから仕方がないと思うが、なんでもいから、秋セマスタからは学校に行かせてください。から家賃を払うのは、かなり気がひけます

私達だけでなく授業を構成する教授方も大変であることは分かっているし感謝もしているが、学生の声にも耳を傾けてほしい。

最低限の授業すら行っていない科目ではこれより先学費に見合うような授業が行われることを切に願う。

初めは慣れないことばかりでしたが行いうちに自分の時間や学習の時間も作ることができるようになりました。しかし、課題や単位取得については不安が少しあります。

また、現在感染者が増加している状況なので対面授業を行うのが怖く、心配です。

オンラインになり校内の施設の利用ができず、直接的かつオンライン授業以前の指導を受けられない状態なのにも関わらず授業料は減額されないのはあまりにも納得できない点が多い。

本来できる予定だったアルバイトができないにも関わらず秋セマスタの授業がオンラインか未だ決定していないため下宿先の解約もできず、家賃等を払い続ける必要があるが、緊急支援を受けることができないギリギリのラインの家庭状況のため9万円の支給はない。そのため本来の予想よりも多くの負担を両親にかけてしまっている。

もう少し階級の幅を広げて経済的支援を行ってほしい。

単位が取れるかどうか不安です。友達ができるか不安です。レポートがしっかり書いているか不安です。

今回のオンライン化によって、デメリットもありますが当然メリットも存在しています。元通りに戻すのではなく、今回の事態を受けて学生目線でより良い教育環境を目指して、前進していく施策をぜひ打ち出してください。

生徒のオンライン上での不備に寛容になるべき。

教授陣も課題の公開し忘れていた上にmanabaを見てないから一週間以上たってから公開するなど多くの不備があるのに生徒にだけ失敗を許さず評価まで下げるのは納得いかない。

大学では自分と向き合う時間が沢山あると周囲から聞いており、授業と両立して勉強したいことがありました。しかし、課題だけで終了してしまいました。秋学期以降は、将来について考える時間や資格の勉強に費やす時間を考慮して頂きたいです。

課題については、1つ1つに時間をかけられず、納得いかないまま提出するのは忍びなかったです。学部ごとに課題の量を統括できる場があればうれしいです。授業料の返金は歴然とトかついてはいるのに、学費はトからないし、レポートも充分でない。春セマは終わつたけど、学習した感が皆無でさる。ただ過ぎていつか感さる

秋学期からもこの状態が続くなら

授業料、授業形態、実験に対する対応を全て改めるべきです。特に授業料です。我々も家計、バイトの都合、かなり厳しい経済状況にあることを理解して欲しい。

秋までは考える時間が十分にありました。大学教員の力量を我々に見せて欲しい。

一学生の意見がどれほど大学側に伝わり、反映されるのか、私はアンケートに答えつつ、どうせ無視されて終わりだろうと思っています。

どうか、一学生の思いを汲み取って欲しいです。

講義資料の公開やアンケート、小テストなどの提出方法や締め切り時間の表記方法が授業ごとに異なるのでもう少し統一して欲しい。

ある程度は対面授業も取り入れてほしい。

授業のオンデマンド形式で、かなり講義の質にばらつきがあったので

後期は対面授業ができなければ全面オンライン会議ツールを使ったライブ型の授業を検討してほしいです

普段は大学で課題や自習をしていたため、下宿先に勉強机を用意しておらず勉強する環境が整っていなかった為困った。現在も予約制でしかも開館時間が短いので不便。

大学側は悪くないとはいえ、間違いなく最悪の半年でした。受験生時代に戻りたい。もう一生こんな経験はしたくないですが、秋学期もこうなる覚悟はしています。諦めてます。秋だけに。この学校に入る前に思い描いていた大学生活は訪れない…友達顔どころかキャンパスの地理すら分からないんです？僕達は…悲しいです、ホントに

もう一度書くが、webだからこそ利点(いつでも見ることが出来る)をもっと活用して欲しい。期間を短くしては利点が活かし切れていないと思った。課題以外にも、ずっと家にいるからこぞやりたいことがあるということも理解してほしい。

大子に行けたいからなのか、正直なところ何分かつかないまま進んでいく気がするのだから一回生のみでの授業等は対面でも開講して頂けると切実

オンラインで講義ができたら大学の機能が担保されたとは全く言い難い。私達は大学で今までできた課外自主活動や講義のもぐり、友人との他愛のない話、部屋に何気なく足を運ぶこと、がらがら図書館で本を探ることができなくなっている。これらの経験の喪失はとてつもなく大きいし、これが学費返還の要求になっているのだろう。経験の喪失をどのように大学にいい、改善を図っていくのが求められているのだろう。

一回生だったので分からないことが多く、それを気軽に質問できる様なシステムがあれば良いなと思いました

自分のペースで学べるなど、オンラインで良かった点もあったと思う。オンライン授業自体に問題があったとは思わない。